

令和4年度 学校経営計画書

学校番号	17	学校名	静岡県立裾野高等学校	校長名	多嶋 洋一
------	----	-----	------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

本校は創立110有余年の歴史と伝統を踏まえ、総合学科としての新たな歴史を刻みながら、校訓「自覚」の下、次世代を担う人材の育成に取り組んでいる。その学校生活の中核となる価値や行動規範を「挑戦、変化、地域貢献」と位置づけ、裾野市との連携協定締結のもと様々な企画を立案・実行し、保護者や地域の人々に愛され信頼される学校づくりを目指す。

(2) 目標具現化の柱

ア **基本的生活習慣** まず “日常生活の中でしっかりと挨拶ができる” から始め、基本的生活習慣の確立を目指す。また集団の中で自らの役割を見出し行動できる生徒を育成する。さらに社会に適應できるようにするために、卒業時までには社会人として必要な力（社会人基礎力）を育成する。

イ **自立心** 自己教育力や規範意識を醸成し、生徒の自立性・社会性を伸長し、命を尊び健康で安全な生活を営むことができる力を育成する。

ウ **挑戦心** 各系列の特色を生かして地域人材の積極的活用を図り、生徒の学習意欲の向上に努めるとともに、基礎・基本となる知識・技能の定着を図る。さらに自ら課題を見だし、その課題解決に向けて、粘り強く取り組むチャレンジ精神に富んだ生徒を育成する。

エ **変化に対応する力** 生徒が自己の生き方を考え自らに合った進路実現ができるようキャリア教育を推進する。そして地域や産業社会の変化に柔軟に対応できる人材を育成する

オ **自己肯定力** 学校行事・特別活動・部活動等への主体的な参加により、生徒一人ひとりが尊重され、認め合い、活躍でき、自信と誇りを持って生きていくことができる学校を目指す。

カ **地域貢献力** 学校の情報を積極的に保護者や地域に発信するとともに、地域の諸課題について主体的に探究活動を行い、保護者や地域とのつながりを深めることで、地域貢献ができる人材を育成する。

キ **グローバル力** 郷土に誇りを持ちながら、地球的な規模の課題についても探究し、国内や国際社会に目を向け社会貢献できるグローバル人材を育成する。

ク **同僚性の向上** 教職員は、常に研究と修養に努め、積極的に研修に参加し、最新の知識や技術の習得に励む。また、互いにコミュニケーションを深めるなど同僚性を高めて学校全体の指導力向上に貢献する。

ケ **ワークライフバランス** 教職員は、仕事を組織的・計画的に行って効率化を図り、ワークライフバランスに努める。また、次世代育成支援を意識した行動に取り組む。

コ **教育環境の充実** 保護者や地域住民等と連携して安心安全に学ぶことができる教育環境の整備・充実に努める。

様式第1号

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	社会に適応できる基本的な生活習慣の確立に向けた指導を充実する。	チケット制指導、挨拶指導、朝読書指導を徹底し、欠席・遅刻・早退を減少させる。 初期指導、少人数クラス経営、登校指導、昼休み巡視、保護者や地域との連携を通し、生徒の基本的な生活習慣の確立に努める。 問題を抱えた生徒等には生徒課、学年、保健・相談課が連携してサポート体制をつくり、組織的な対応を行う。 生徒が主体となるような委員会活動を実施する。	裾野高校に入学してよかったと答える生徒 100%	全員
			服装が良いと答える生徒 90%以上	生徒課 学年部
			挨拶ができると答える生徒 90%以上	生徒課 学年部
			出席率 98.0%以上 遅刻・早退件数 前年度比 30%減	教務・研修課 学年部
			基本的な生活習慣の指導が適切に行われていると答える生徒 85%以上	生徒課 学年部 保健・相談課
			委員会活動が活発であると答える生徒 70%以上	保健・相談課 総務・図書課 生徒課
イ	望ましい社会性、規範意識を育成し、生徒の自立性・社会性を伸ばし、命を尊び健康で安全な生活を送らせる。	道徳教育の充実を図り、問題行動を減少させる。 学年会、生活アンケート、いじめ対策委員会、教育相談委員会を実施して、いじめ等の学校の危機や問題行動を未然に防止する。 カウンセリングを通して、生徒の心身の健康に積極的に取り組む。 実際の災害を想定した実効性のある防災教育を実施する。地域防災訓練の実施日を生徒に周知する。保健便りを定期的に発行する。 面接週間や休業中の三者面談以外にも家庭や生徒との面談またはアンケートを積極的に行う。	全校集会、学年集会で毎回、生徒に問題行動予防のための講話を実施 問題行動の発生件数前年度比 20%減	生徒課 学年部
			PTA・地域との連携による交通安全指導を実施し、交通事故件数を前年度比 20%減 外部講師による交通安全教室を年2回実施 いじめ防止・スマホの適正使用に関する研修会（生徒・教員）2回以上実施 教育相談委員会の実施を年間6回以上 健康・安全に関する指導が適切に行われていると答える生徒 90%以上	生徒課 保健・相談課
			避難訓練を年3回実施。避難訓練は大切と答える生徒 75%以上 地域防災訓練参加率 75%以上	総務・図書課

		定期的に大掃除を実施するなど清掃活動の充実を図る。	保健便りを年 10 回は発行 疾病治療 60%以上 特に、歯科受診率 30%以上 朝食摂取率 95%以上	保健・相談課
			教職員は生徒の話を親身になって聞いてくれると答える生徒 90%以上 生徒面談年 3 回以上 生活アンケートを年 3 回実施し、問題がある場合は関係教職員が即座に対応 定例いじめ対策委員会を年 3 回開催	保健・相談課 学年部 生徒課
			清掃により校内美化が保たれていると答える生徒 80%以上	保健・相談課
ウ	総合学科の特色を生かして、地域人材の活用を図り、基礎基本の定着や課題解決能力の向上を図る。	新教育課程の実施に向けて、研修を積極的に行う。	新教育課程・学習評価及び I C T 活用に関する研修を年 3 回以上実施	教育課程検討委員会 教務・研修課 教科
		授業力向上研修等の実施により生徒のやる気を引き出し、主体的に学びに向かう生徒が増加する。	家庭学習をよくやっていると答える生徒 30%以上 基礎力診断テストにより基礎学力の定着度が把握できたと答える生徒 80%以上 授業で力がついたという生徒 80%以上	教務・研修課 進路課 教科
		少人数授業、習熟度別授業、T T によりきめ細やかな指導を実施する。	授業がわかると答える生徒 85%以上	教務・研修課 教科
		各教科は授業の充実と基礎学力の向上のため初期指導を実施する。週末課題や課題テスト等を充実させることで、家庭学習習慣の定着を図る。	家庭学習時間調査を定期的に行い、平日が 40 分以上、休日が 60 分と答える生徒が 80%以上	教務・研修課 教科
		読書活動・NIE を推進し、図書館利用率を向上させるとともに生徒の言語活動・表現力の充実を図る。	朝読書はよい効果があると答える生徒 70%以上 生徒の借りる本一人 3 冊以上	総務・図書課 学年部
		教科選択のあり方を検討する。 系列の特色化を図るために地域人材の活用を積極的に図る。また、地域の課題解決を図る取組を推進する。	系列や選択科目が希望進路に就いていると答える生徒 90%以上 オープンスクールにおける来校者の満足度 97%以上 地域人材の活用 100 件以上 地域関連事業の実施年 30 件以上	教務・研修課 進路課 総合学科 キャリア教育

様式第1号

エ	キャリア教育を推進し、地域や産業社会の変化に対応しながら自己実現のできる人材育成を図る。	学力向上委員会の指導のもと、平日や長期休業中の進学補習を計画的に実施するとともに進路希望に応じた個別指導の充実を図る。	3年生の就職者の第一志望合格率 90%以上 3年生の進学者の第一志望合格率 90%以上 3月末までの進路決定 100% 進路決定に向けた指導が充実していると答えている生徒 90%以上	進路課 3年部
		キャリア教育推進室の指導のもと、計画的に、組織的に「産業社会と人間」・総合的な学習の時間「キャリアアップセミナー」を運営して自己の在り方・生き方を考えさせる。	「産業社会と人間」・総合的な学習の時間が自己のためになったと答える生徒 80%以上	総合学科 キャリア教育
		進路の手引を十分に活用し、高校入学前の事前評価も踏まえ、高校3年間を見通し、計画的な進路指導・支援を行う。	インターンシップ参加者 2年生（就職希望者）100% オープンキャンパス参加者（進学者）100% 志望学部・志望学科・志望職種が明確になったと答える 2年生 90%以上 自己の進路目標に即して系列を選ぶことができたと答える 1年生が 90%以上	進路課 2年部 1年部 キャリア教育
			平日、休業中の補習参加者各学年 60人以上	進路課 学年部
オ	学校行事、特別活動、部活動を充実し、生徒に自信と誇りを持たせ、学校の活性化を図る。	生徒自らが行事を運営する。	生徒会活動は行事の成功につながっていると答える生徒 90%以上 学校行事は充実していると答える生徒 90%以上	生徒課
		HR活動を充実させ各自の所属感を向上させる。担任が学級経営に対し明確なビジョンを持ち、特色ある学級経営を実施する。指導方法を工夫し、部活動を活性化させる。部活動の日を設定し、全校生徒が部活動に取り組む体制を整える。外部人材の活用で部活動の専門性を確保する。	HR活動を通してクラスのまとまりがあると答える生徒 90%以上	生徒課 学年部 担任
			所属している部活動に満足していると答える生徒 85%以上	生徒課 各部活動
カ	保護者や地域住民等への広報活動を充実し、地域貢献活動を活発に行う。	管理職、分掌、各学年部、教科は、中学校生徒保護者、地域や本校保護者に情報提供を積極的に行う。	HPを活用して毎週 1 回以上の情報を発信し、月のアクセス数を 2,500 以上とする。 HPやFacebook で学校の様子を知ることができるかと答える保護者 80%以上	管理職 情報委員会 総務課 学年部 生徒課 総合学科

様式第 1 号

		<p>裾野地区や中学校へ配布する学校広報のチラシを作成する。</p> <p>PTA 活動への保護者の参加を促す。</p> <p>地域貢献活動を積極的に行う。</p>	<p>各学年部は学期に 3 回以上保護者に対して学校の様子がわかる広報紙を発行 報道提供件数 50 件以上</p> <p>地域向け学校広報チラシを月に 1 回発行</p> <p>PTA 総会の出席率 30%以上 PTA 活動の趣旨を十分理解して参加していると答える保護者 60%以上</p> <p>清掃活動以外の一部活動一ボランティア活動の実施 100%</p>	<p>教科</p> <p>総合学科</p> <p>総務・図書課</p> <p>生徒課 各部活動</p>
キ	<p>職員及び生徒の国際化を推進し、グローバル人材を育成する。</p>	<p>国際的視野を養う修学旅行の準備、安全な実施、事後指導を計画的に行う。</p> <p>授業等において地球的規模の課題について探究する機会を設ける。</p> <p>補助金等を利用して各種検定等の資格取得を奨励する。</p>	<p>修学旅行に向けての事前研修、現地での取組計画、事後研修の立案</p> <p>地球的規模の課題について興味を持ったと答える生徒 60%以上</p> <p>英語検定合格者数 3 級 15 人以上 準 2 級 10 人以上 漢字検定合格者数 2 級 5 人以上、準 2 級 10 人以上 数学検定合格者数 準 2 級 5 人以上 商業検定合格者数 全商検定（簿記・情報・電卓） 1 級 20 人以上</p>	<p>1、2 年部 総合学科 教科</p>
ク	<p>教職員は研修に積極的に参加し、組織的な取組により学校力の向上に貢献する。</p>	<p>教員相互の授業参観や生徒による授業評価を実施して授業改善に取り組む。</p> <p>授業力向上研修を定期的 に実施する。 県内外の特色ある取組を視察し、研修参加を促進する。 教務・研修課、保健・相談課、スクールカウンセラーと連携し教育研修を実施する。 生徒課と連携してメンター制を導入する。 採用 1～3 年目の教員を対象とした生徒指導研修の実施する。</p>	<p>授業参観後の合評会や生徒による授業評価アンケートを非常勤講師まで含んで 100%実施</p> <p>「主体的・対話的で深い学び」及び「ユニバーサルデザイン」を意識してやっている教員の割合が 100%</p> <p>必要な生徒に対して個別支援計画を作成 UD 教育を取り入れる教員 100%</p> <p>教務・研修課、生徒課の連携により、採用 1～3 年目の教員のための生徒指導に関する研修を導入する。</p>	<p>教務・研修課</p> <p>教務・研修課 教科</p> <p>保健・相談課</p> <p>教務・研修課 生徒課</p>

様式第1号

		学校基本問題検討委員会を中心にカリキュラム・マネジメントを意識した学校づくり・学校力の向上に取り組む。	教職員が連携し、カリキュラム・マネジメントを意識した教育活動を実践し、教育効果が上がったと実感する教員 80%	
ケ	教職員は業務の効率化を図り、ワークライフバランスに努める。また、次世代育成支援を意識した行動に取り組む。	<p>定例会議の実施及び計画的、組織的な取組を実施する。</p> <p>定時退勤日を設定し管理職から教職員に早めの退勤を促す。</p> <p>年休・夏季休暇等の取得の向上を目指すため業務削減に取り組む。</p> <p>勤務実態を振り返る機会を定期的に設定する。</p> <p>時間外勤務を削減する。</p>	<p>月曜日の定時退勤励行 (午後6時完全退勤)</p> <p>午後8時退勤励行 (午後9時完全退勤)</p> <p>夏季休暇完全取得 一人当たり時間外勤務月平均30時間以下 一人当たりの年休取得日数平均13日以上</p>	全員
コ	安心安全な教育環境の整備、充実に努める。	<p>コンプライアンス意識を徹底して、体罰、セクハラ等の学校不祥事を防止する。</p> <p>学校経営予算の効果的な執行に努めるとともに、適正な会計処理を行う。</p> <p>学期に一度安全点検を実施し、事務部と連携して整備・充実に努める。</p> <p>警報時の対応について周知徹底を図る。</p>	<p>体罰、セクハラ等服務事故0件</p> <p>施設設備に起因する事故件数0件 監査、検査での指摘、文書指導等の件数0件</p> <p>学校の施設・設備が整備されていると答えた生徒85%以上</p> <p>警報時の対応について承知していると答えている生徒や保護者85%以上</p>	管理職 事務部 保健・相談課

※以上のアからコの成果目標を達成することを通して、入学者選抜において募集倍率1.00倍以上を達成する。(管理職・全教職員)

(記入上の留意点)

1 (1) (2) の欄は、単に校訓や抽象的な理念にとどまらず、学校の特色を明解に表現すること。また、具体的な重点項目が外部の方にもわかりやすいよう、工夫して記載すること。